



平成28年9月12日(月)
認知症フォーラム in 生駒

生駒市長
小紫 雅史

I 現状



【認知症高齢者数について】

- ➡ 全国（厚労省資料：新オレンジプランより）
2012年 462万人
2025年 700万人⇒1.5倍
- ➡ 生駒市（要支援・要介護認定者数から推計）
2012年 2,150人
2025年 4,385人⇒**2.04倍**



（第6期介護保険事業計画策定時資料より抜粋）

→ 予防、悪化防止の取組が不可欠

Ⅱ これまでの取組

1. 認知症予防への取組
2. 早期発見・早期対応
3. 重度化予防の取組
4. 見守りネットワークの構築
5. 普及啓発
6. 福祉を支える人づくり

【1. 認知症予防への取組】

脳の若返り教室

市内4ヶ所・7教室開催

公文式学習教材を使用。
多くのサポーターに支えられて実施。

サポーター数日本一！



コグニサイズ教室

市内2ヶ所で開催

有酸素運動+脳トレ！



いきいき100歳体操



毎週1回の集いの場として地域が自主的に開催。
現在各地に拡大中！

【2. 早期発見・早期対応】

認知症初期集中支援事業



初期集中支援チーム員



【事例紹介】

Mさん、86歳（男性）
理解・判断能力低下、転倒を繰り返していた事例。長谷川式・MMSE実施後、チームによる訪問を開始。チーム員会議で、専門医から神経難病が潜んでいる可能性が指摘される。チームで神経内科受診への導きをお手伝い。結果、「進行性核上性麻痺」という病気の早期発見に至る。

物忘れ相談事業

老年精神医学専門の精神科医師による
物忘れ専門の相談事業を実施

場所：コミセン（セイセイビル）
曜日：毎月第2火曜日
時間：13:30～16:30（要予約）

【3. 重度化予防の取組】

パワーアップPLUS教室・パワーアップ教室等



パワーアップPLUS教室



転倒予防教室



パワーアップ教室

認知症予防料理教室



医療介護連携ネットワーク協議会

～認知症対策部会～

- ◆ 生駒市における課題の抽出
- ◆ 認知症ケアパス作成
- ◆ 認知症多職種連携研修
- ◆ 認知症講演会等



【4. 見守りネットワークの構築】

認知症サポーター 養成講座



行方不明高齢者捜索 ネットワークシステム

行方不明のおそれがあるとして事前登録
いただいた方にキーホルダーをお渡し。

* 警察・地域包括支援センター・市で
情報共有



徘徊高齢者の模擬訓練



エリア内で行方不明高齢者が発生したと想定しての捜索・声掛け訓練。自治会単位で実施。

認知症カフェ

【ちょぼらカフェあずさ】

場所：梅寿荘地域包括支援センター内

日時：毎月第1木曜日、13:00～15:30



当事者・家族の負担軽減

生駒市介護者（家族）の会
社団法人認知症の人と家族の会
若年性認知症の電話無料相談
介護保険制度等

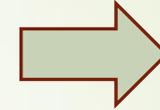
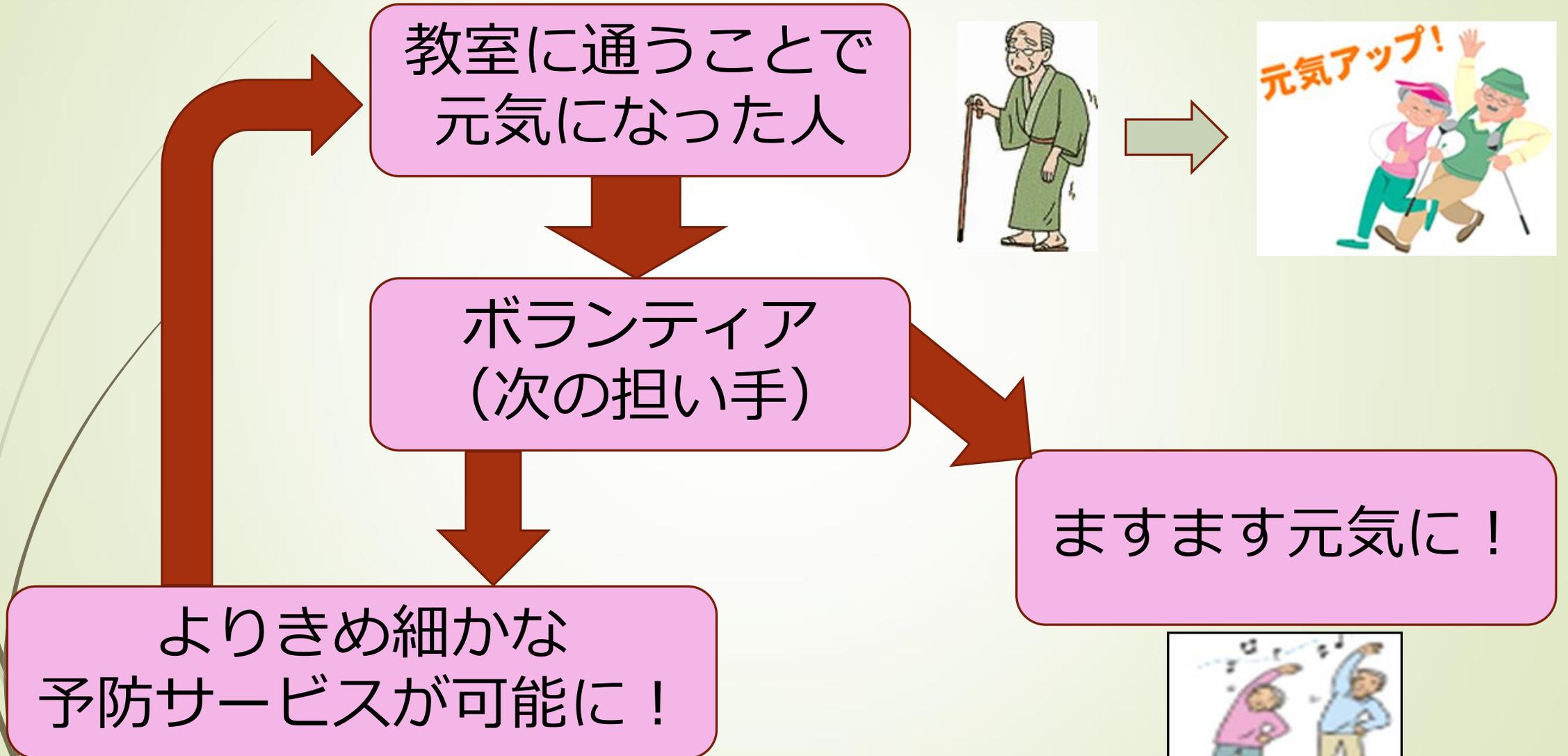
【5. 認知症の普及啓発】

RUN-TOMORROW イベント



全てのまちが認知症になっても安心して暮らせる地域になることをめざして、認知症の人とともにタスキをつなぐ列島リレーです。今年も7月に北海道を出発し、10月2日（日）生駒市にタスキがつながり、最後は沖縄までつなぎます。生駒市ではそのイベントに向けて、高齢者サロンや自治会で応援うちわを作成してくれています。当日は市役所駐車場でゴールイベントを開催します！ぜひ皆様もご参加ください。

【6. 福祉を支える人づくり】



Ⅲ これからの取組

【認知症「認とも・支え隊・見守り隊」養成！】

平成28年度 下半期実現に向けて検討中

こんな人たちがたくさん地域にいたら、自身が認知症になったとしても、家族に認知症の方がいても少し、ホッとできる時間を持てるのではないのでしょうか？

- ◆認とも：認知症の方のお宅訪問が叶い、話し相手になれる人
- ◆支え隊：認知症に理解のある方が「趣味・特技」を活かした活動を認知症の方と共に行うサポーター
- ◆見守り隊：徘徊する高齢者を見守り保護する役割を担うなど



ご清聴ありがとうございました。